

別表

1 1号機及び2号機
(1) 冷暖房切替整備

作業項目		内容	冷房	暖房
本体点検	ア 外観点検	① 損傷、発錆等の有無を確認	○	○
	イ 吸収器・凝縮器チューブ洗浄及び水室内点検	① 吸収器チューブ洗浄		○
		② 吸収器水室内確認		○
		③ 凝縮器チューブ洗浄		○
		④ 凝縮器水室内確認		○
	ウ 高温再生器煙管清掃	① 煙管プロモータ内を確認		
	エ 高温再生器煙室点検	① 後部煙室耐火材の状態を確認	○	○
		② のぞき窓ガラスを点検	○	○
	オ 燃焼系統点検(油仕様)	① ストレーナー清掃	○	○
		② ノズルチップ点検	○	○
		③ バーナヘッド清掃	○	○
		④ バーナ部品・油配管に漏れが無いことを確認	○	○
		⑤ 弁・継ぎ手に緩みが無いことを確認	○	○
		⑥ 配管に亀裂が無いことを確認	○	○
		⑦ オイルヒータサーモの作動を確認	○	○
	カ 燃焼系統点検(ガス仕様)	① ガス配管気密試験	○	○
	キ 溶液ろ過フィルタ点検	① フィルタエレメントを洗浄又は交換	○	
	ク 抽気ポンプ点検	① 到達真空度を確認	○	
	ケ 電気整備	① 操作盤内を清掃	○	○
		② 端子の緩み無いことを確認	○	○
③ 絶縁抵抗値を測定		○	○	
④ サーマルリレー設定値を確認		○	○	
⑤ 制御盤設定項目を確認		○	○	
⑥ 温度センサの表示値を確認		○	○	
⑦ バックアップバッテリー点検		○	○	
コ 保安装置点検	① 圧力スイッチ・サーモスタットの設定値を確認	○	○	
	② 減断水スイッチの実作動値を確認	○	○	
	③ 火炎検出器を点検	○	○	
サ 運転モード切替	① 運転モードを切替	○	○	
	② 冷暖切替弁を運転モードの位置に切替	○	○	
報告書作成	① 標準整備報告書	○	○	
	② 標準整備データ表	○	○	
	③ 試運転報告書	○	○	
	④ 燃焼データ	○	○	
	⑤ 運転データ	○	○	

(2) 冷暖房試運転

作業項目		内容	冷房	暖房
試運転前点検	ア 溶液調整	① 分析結果により溶液を調整		○
		② 能力増進剤を注入(必要に応じて)	○	
イ 運転モード確認		① 運転モードを確認	○	○
		② 制御盤目標温度を確認	○	○
ア 燃焼確認及び調整		① 後部煙室のぞき窓よりバーナヘッドに損傷の無いことを確認	○	○
		② 燃焼状態の確認及び調整	○	
		③ 燃焼データを記録	○	
イ 不凝縮ガス抽気		① 機内不凝縮ガスを真空ポンプにて抽気	○	
ウ 抽気装置点検		① 抽気装置の作動確認	○	
エ 気密確認		① 吸収器LTD-Rを測定	○	

試 運 転 調 整	オ 溶液サンプリング及び分析試験	① 溶液をサンプリング	○	
		② 目視にて溶液の汚れを確認	○	○
		③ 目視又は臭気にて能力増進剤の有無を確認	○	○
	カ 冷水系統点検	① 流量確認	○	
		② 冷水入口と出口の温度差を確認	○	
		③ 蒸発器LTDを確認	○	
	キ 冷却水系統点検	① 流量確認	○	
		② 冷却水出口と出口温度差を確認	○	
		③ 吸収器LTDを確認	○	
		④ 凝縮器LTDを確認	○	
		⑤ 冷却水入口温度の変動を確認	○	
	ク 温水系統点検	① 流量確認		○
		② 温水入口と出口の温度差を確認		○
	ケ 総合試運転調整及び運転データ記録	① 変流量制御が機能することを確認	○	○
		② 容量制御及び濃度制御が機能することを確認	○	○
		③ (高温)再生器液面制御が機能することを確認	○	○
		④ 異音・異常振動の無いことを確認	○	○
		⑤ 総合的な運転状況を確認(必要に応じ冷媒量調整)	○	○
		⑥ 運転データを記録	○	○
		⑦ サービスツールにてデータを保存	○	○
	報告書作成			○

(3) シーズンオン点検

作業項目		内容	冷房	暖房
ア 燃焼系統点検	① 燃料系統配管に漏れの無いことを確認	○	○	
	② 後部煙室のぞき窓よりバーナヘッドに損傷の無いことを確認	○	○	
	③ 異音・異常振動の無いことを確認	○	○	
イ 気密確認	① アブソーバロスを測定	○		
ウ 溶液調整	① 冷房切替時にサンプリングした溶液の分析結果により溶液を調整	○		
エ 抽気ポンプ点検	① 動作点検	○		
オ 不凝縮ガス抽気	① 機内不凝縮ガスを抽気	○		
カ 運転確認	① 容量制御及び濃度制御が機能することを確認	○	○	
	② 高温再生器液面制御が機能していることを確認	○	○	
	③ 異音・異常振動の無いことを確認	○	○	
	④ 総合的な運転状況を確認(必要に応じ冷媒量調整)	○	○	
	⑤ 運転データを記録	○	○	
	⑥ サービスツールにてデータを保存	○	○	
キ 冷水系統点検	① 流量確認	○		
	② 冷水入口と出口の温度差を確認	○		
	③ 蒸発器LTDを確認	○		
ク 冷却水系統点検	① 流量確認	○		
	② 冷却水出口と出口温度差を確認	○		
	③ 吸収器LTDを確認	○		
	④ 凝縮器LTDを確認	○		
	⑤ 冷却水入口温度の変動を確認	○		
ケ 温水系統点検	① 流量確認		○	
	② 温水入口と出口の温度差を確認		○	
コ 溶液分析試験	① 調整後に溶液をサンプリング	○		
報告書作成			○	○

2 3号機

(1) 冷房切替整備

作業項目		内容	冷房	暖房
本体点検	ア 外観点検	① 損傷、発錆等の有無を確認	○	
	イ 吸収器・凝縮器チューブ洗 浄及び水室内点検	① 吸収器チューブ洗浄	○	
		② 吸収器水室内確認	○	
		③ 凝縮器チューブ洗浄	○	
		④ 凝縮器水室内確認	○	
	ウ 高温再生器煙管清掃	① 煙管プロモータ内を確認	○	
		② 煙管清掃	○	
	エ 高温再生器煙室点検	① 後部煙室耐火材の状態を確認	○	
		② のぞき窓ガラスを点検	○	
	オ 燃焼系統点検(油仕様)	① ストレーナー清掃	○	
		② ノズルチップ点検	○	
		③ バーナヘッド清掃	○	
		④ バーナ部品・油配管に漏れが無いことを確認	○	
		⑤ 弁・継手に緩みが無いことを確認	○	
		⑥ 配管に亀裂が無いことを確認	○	
		⑦ オイルヒータサーモの作動を確認	○	
カ 燃焼系統点検(ガス仕様)	① ガス配管気密試験	○		
キ 溶液ろ過フィルタ点検	① フィルタエレメントを洗浄又は交換	○		
ク 抽気ポンプ点検	① 到達真空度を確認	○		
ケ 電気整備	① 操作盤内を清掃	○		
	② 端子の緩み無いことを確認	○		
	③ 絶縁抵抗値を測定	○		
	④ サーマルリレー設定値を確認	○		
	⑤ 制御盤設定項目を確認	○		
	⑥ 温度センサの表示値を確認	○		
	⑦ バックアップバッテリー点検	○		
コ 保安装置点検	① 圧力スイッチ・サーモスタットの設定値を確認	○		
	② 減断水スイッチの実作動値を確認	○		
	③ 火炎検出器を点検	○		
サ 運転モード切替	① 運転モードを切替	○		
	② 冷暖切替弁を運転モードの位置に切替	○		
報告書作成	① 標準整備報告書	○		
	② 標準整備データ表	○		
	③ 試運転報告書	○		
	④ 燃焼データ	○		
	⑤ 運転データ	○		

(2) 冷房試運転

作業項目		内容	冷房	暖房
試運転前点検	ア 溶液調整	① 分析結果により溶液を調整 ② 能力増進剤を注入(必要に応じて)	○	
	イ 運転モード確認	① 運転モードを確認	○	
② 制御盤目標温度を確認		○		
	試運転調整		○	
ア 燃焼確認及び調整		① 後部煙室のぞき窓よりバーナヘッドに損傷の無いことを確認	○	
		② 燃焼状態の確認及び調整	○	
		③ 燃焼データを記録	○	
イ 不凝縮ガス抽気		① 機内不凝縮ガスを真空ポンプにて抽気	○	
ウ 抽気装置点検		① 抽気装置の作動確認	○	
エ 気密確認		① 吸収器LTD-Rを測定	○	

試 運 転 調 整	オ 溶液サンプリング及び分析 試験	① 溶液をサンプリング	○	
		② 目視にて溶液の汚れを確認	○	
		③ 目視又は臭気にて能力増進剤の有無を確認	○	
	カ 冷水系統点検	① 流量確認	○	
		② 冷水入口と出口の温度差を確認	○	
		③ 蒸発器LTDを確認	○	
	キ 冷却水系統点検	① 流量確認	○	
		② 冷却水出口と出口温度差を確認	○	
		③ 吸収器LTDを確認	○	
		④ 凝縮器LTDを確認	○	
		⑤ 冷却水入口温度の変動を確認	○	
	ク 温水系統点検	① 流量確認		
		② 温水入口と出口の温度差を確認		
	ケ 総合試運転調整及び運転 データ記録	① 変流量制御が機能することを確認	○	
		② 容量制御及び濃度制御が機能することを確認	○	
		③ (高温)再生器液面制御が機能することを確認	○	
		④ 異音・異常振動の無いことを確認	○	
		⑤ 総合的な運転状況を確認(必要に応じ冷媒量調整)	○	
		⑥ 運転データを記録	○	
		⑦ サービスツールにてデータを保存	○	
	報告書作成			○

(3) 冷房シーズンオン点検

作業項目		内容	冷房	暖房	
運 転 状 況 点 検	運転状況点検				
	ア 燃焼系統点検	① 燃料系統配管に漏れの無いことを確認	○		
		② 後部煙室のぞき窓よりバーナヘッドに損傷の無いことを確認	○		
		③ 異音・異常振動の無いことを確認	○		
	イ 気密確認	① アブソーバロスを測定	○		
	ウ 溶液調整	① 冷房切替時にサンプリングした溶液の分析結果により溶液を調整	○		
	エ 抽気ポンプ点検	① 動作点検	○		
	オ 不凝縮ガス抽気	① 機内不凝縮ガスを抽気	○		
	カ 運転確認	① 容量制御及び濃度制御が機能することを確認	○		
		② 高温再生器液面制御が機能していることを確認	○		
		③ 異音・異常振動の無いことを確認	○		
		④ 総合的な運転状況を確認(必要に応じ冷媒量調整)	○		
		⑤ 運転データを記録	○		
	キ 冷水系統点検	⑥ サービスツールにてデータを保存	○		
		① 流量確認	○		
			② 冷水入口と出口の温度差を確認	○	
			③ 蒸発器LTDを確認	○	
		ク 冷却水系統点検	④ 凝縮器LTDを確認	○	
			⑤ 冷却水入口温度の変動を確認	○	
	① 流量確認		○		
			② 温水入口と出口の温度差を確認		
ケ 温水系統点検	③ 吸収器LTDを確認		○		
	④ 凝縮器LTDを確認	○			
コ 溶液分析試験	⑤ 冷却水出口と出口温度差を確認	○			
	③ 吸収器LTDを確認	○			
報告書作成			○		